



健全なジャーナリズムこそ
民主主義の基本だ!!

第1回講師

田原 総一郎

ジャーナリズム公開講座

2013年

10月3日(木)

18:30~20:30(開場18:15)

B-nest(ビネスト、ペガサート6階)

入場無料

要申込:先着100名
※どなたでも参加いただけます

主催者ごあいさつ

静岡県立大学法人 静岡県立大学 学長 木苗 直秀

このたび静岡県立大学では、ジャーナリズム公開講座を開設することになりました。その開講により、「ジャーナリズムの向上による民主主義の成熟」を目指しています。

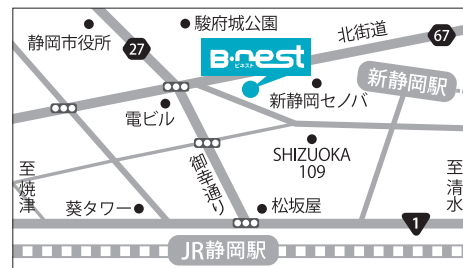
納税者(国民)を国家社会の主人公とする民主主義のシステムにおいては、納税者の代表である国会、ジャーナリズム、アカデミズム(シンクタンクを含む)が専門的知見によって政府の動向を不断に検証し、ときには助ける営みが必要不可欠です。その中心は、自らを含む納税者の代表をも検証できるジャーナリズムであ

ることは言うまでもありません。

しかし、残念なことに、日本にはそうしたジャーナリズムの位置づけが希薄で、とりわけ専門知識が問われる安全保障、危機管理、原子力、ITなどの科学分野においては、十分な検証能力を備えていない印象さえあります。

そんな日本の現状を打開し、日本と静岡の安全と繁栄を確かなものになりたいとの思いから、日本でオンリーワンのジャーナリズム講座の開設を視野に、本公開講座をスタートさせることになりました。皆様の御出席と意見交換を大いに期待しております。

会場



静岡市葵区御幸町3-21 ペガサート6階
JR静岡駅北口から徒歩10分

※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

静岡県立大学ジャーナリズム公開講座(全5回)

※講師の都合により、予定を変更する場合があります。

第2回/11月7日(木)坂本 衛(日本大学芸術学部講師)

第4回/1月23日(木)柴山哲也(立命館大学客員教授)

第3回/12月5日(木)長野智子(ニュースキャスター)

第5回/2月20日(木)小川和久(静岡県立大学特任教授)

お申し込みは、裏面をご覧ください。

静岡県立大学『ジャーナリズム公開講座(全5回)』 2013年10月～2014年2月

※講師の都合により、予定を変更する場合があります。

	<p>第1回／田原総一郎(ジャーナリスト) 10月3日(木)</p> <p>1934年滋賀県生まれ。早稲田大学文学部卒業。岩波映画製作所、テレビ東京を経て、1977年フリーに。活字と放送で精力的な評論活動を続けている。テレビ朝日系で1987年より『朝まで生テレビ!』、1989年より『サンデープロジェクト』に出演。2002年早稲田大学で「大隈塾」を開講、2005年より早稲田大学特命教授。「琵琶湖塾」(主催:滋賀県立大学)塾長。</p>
	<p>第2回／坂本 衛(日本大学芸術学部講師) 11月7日(木)</p> <p>1958年東京生まれ。早稲田大学政治経済学部政治学科中退。在学中から週刊誌、月刊誌などで取材執筆活動を開始。放送批評懇談会理事。同会「放送批評」「GALAC」編集長、ギャラクシー賞報道活動部門委員長などを歴任。日本大学芸術学部放送学科非常勤講師。「オフレコ!」副編集長。「琵琶湖塾」副塾長。著書に『「地デジ化」の大問題』『官僚たちの熱き日々』など。</p>
	<p>第3回／長野智子(ニュースキャスター) 12月5日(木) <予定></p> <p>1962年米国生まれ。上智大学外国語学部英語学科卒業。1985年フジテレビに入社。1990年結婚退職後、フリーアナウンサー。1999年ニューヨーク大学大学院メディア環境学修士課程を修了。2000年4月よりテレビ朝日『ザ・スクープ』のキャスター。テレビ朝日『報道ステーション』『報道ステーションSUNDAY』に出演中。著書に『ニュースの現場から』など。</p>
	<p>第4回／柴山哲也(立命館大学客員教授) 1月23日(木) <予定></p> <p>同志社大大学院新聞学科中退。1970年朝日新聞社入社、朝日ジャーナル編集部、戦後50年企画本部等に在職後退社。ハワイ大学、イースト・ウエスト・センター、京都大学、国際日本文化研究センター、京都女子大学などの教職を経て現職。著書に『日本型メディア・システムの興亡』『「情報人」のすすめ』『日本はなぜ世界で認められないのか』など。</p>
	<p>第5回／小川和久(静岡県立大学特任教授) 2月20日(木) <予定></p> <p>1945年熊本県生まれ。陸上自衛隊生徒教育隊・航空学校修了。同志社大学神学部中退。日本海新聞、週刊現代記者を経て1984年、日本初の軍事アナリストとして独立。外交・安全保障・危機管理の分野で政府の政策立案に関わり、国家安全保障に関する官邸機能強化会議議員などを歴任。2012年6月より現職で静岡県の危機管理体制の見直しに取り組んでいる。</p>

静岡県立大学『ジャーナリズム公開講座』受講申込書

氏名	フリガナ 様		
住所	〒		
TEL		職業	
E-mail		年齢	歳
本講座を何で 知りましたか	該当するものに○を付けて下さい。 ・チラシ ・ポスター ・口コミ ・SNS ・電子掲示板 ・他のウェブサイト ・その他()		

お申込先 FAX:054-245-5603 または **E-mail:nishi@u-shizuoka-ken.ac.jp**

※原則として5回ともご出席いただきます。ある回を欠席した後、次回以降に出席される場合は、事前にFAXまたはメールでご連絡いただきます。

